成大方以何津亭、そのではしかでの地太やでで表すするように、明下可より、江町及産新数し、利用の円滑公民館阿書街では看写べも四書の関議ができて民館阿書街では看写べも四書の関議ができている。 蔵を得るために本を読もう、迎田文庫の新書

撲滅委員会が 結成されます

6

成されることなった 妖磨した生産力を復治するには尋常の手段では及びもつかないことは全更教育言をするまでもな 村内の役滴状態も客観的に見るとき幾分なりとも 傾注するが最も肝要であるとの主旨と軍政部より御黙蔑ある後援を傷て今囬地方撲滅女舅会が続 5 が 1 戦に知って インフレの進度を弱体化し安定せる経済下において各階層が各々その職業に揮心の努力を ンフレ撲滅は各個人ななが、〇を展行することに外なりないのであるが見してこの(〇)を いるであろうか? 題に委員の仕事と対等の火災観することなく一般に之が協力方を要望されてい 今回軍政部並懸において示された一般の日用品関係は次の通り 好転したかに窺われるのであるが 何分にも

.P.T	昭和 2	4個?	77 10	日発:	行。		松	14	- 公	F	雹	新	뼼		-	THE	MA	T51	DAI		
	, l, -th		公民		抄拨	塩煮が	撼	するめ	塩人歳	好以	まず	まっけ	さんき	塩	ごぼう	じんじん	かぶ	だいえん	だいこん	品自	7 7
前部和三十三年度中人的教の都各上的教の教育上的教の教育上	电水桶林载 者 大师 城書 話釋全書 新教学大 総以代書日前は 新教学大 戦前の松外図書館より引	ي ک	باخده		7	百上 外。	N	"	<u>ل</u> ا	h	百年	4	百夕	/ *口	"	<i>~</i>	"	"	百乐	数量	
		ire	館の圓書	-	五九四	二〇五	六五 五	大と	ニ。ハ	四三〇	西五五	九。	ノセ五	九四四	大三	四七	=	سسا	- A	K	
冬青食	帝あること 難入	かる	部には		9	0	0	0	0	O	0	0	0	٥	0	0	0	٥	0 3,		
1074	机大	\\ \tilde{\tilie{\tilde{\tilde{\tilde{\tilde{\tilde{\tilde{\tilde{\tilde{\tilde	iđ		躺	薪	木	青刻	板付かま	刻す	焼ち	煮そいわ	1000	\ 	きダベ	な	はくさい	れん	キノとい	뀹	
阿林佳	左八光清 ないまかは、経りからないない	よう		,	州	雜	英	30	, ¥	するめ	く 17	U	かか	1	1	類		À	t	目	
城市 房地					百外	义美国	対外に必り	4	9	11	百名	百年	百从	一合	11	. 2	4	#	百	数量	
文法大學	地方目活用	磨傷 補該	雪臭 実		ガベ	二六	バル	11.11	みと	セハ	一大	四七		ノヽ		===	回	ノト	四月	水	
	五六十五	相談資	国路	<u></u>	0	<u>无</u> 0	/ 0	五。	0	0	0 D	0	0	ハロ	ハ	0	0	0	との表		
教皇帝	国民发展 森及政務	商精於雌大佛次郎	游為文產	朱当	二立入山)\"	中入	ふとわん	障子	租	シャ	海い手	*		砂	しよう	味	₫	B	品	A THE RESIDENCE OF THE PARTY OF
京年 文明				箱	公子	アツ	DIN K	た	徹	奂	ベル	かし	12	酥	糖	ラ油	増	B	* "	目	***************************************
有	サイフス	川夜と女性、新見を文をを来	情 親習	中角		大型が対対	9.	一男	一手港	一切り	一桶	百五	百分	一合	一作	一台	1	1	百升	数量	
五日在			古日此	至	11之之 五	元	四交	四三八	ハハ	\ <u>\</u>	ミハズ	110	12	回回	五〇	回	と	大	三用	尺	4
と五世寺が記る男在 竹田九一	中 男子	市道学	吉川英治日此野史朝	110	五。	9	0	0	八五	00	人と	五〇	五〇	110	0	五五	12	1,	九 0 多	1.	

P.2:	-, , .		0 2		1					きえ			-,-				公	14		公	E		能		新T		刺						TH		M					٠. د د	Lie :	* ~		第	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ا بد		6	- <u>另</u>		انه	_			
要してどうであううか	大きすることと、おかりのからいないはははないというないとうないますが、これのときないというというというというというとうないとうないというというというというというというというというというというというという	生でなるますることは到底不可	過車なられであるか程意	青年にとつては相当	然しならか、る後、素時前の編	るよう 甘土でもるかけがある	寺可の十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	中曜祭中等は後常を行っ	問部し一部置前被常として	う、これが対策として夜	は年第することは困難であう	の機業となり到底四年間に	まのれて名をか出物を変めると	さりとて簡單に夏季の夜前枝	なりない現状である	うとも夜前の課程を行はれば	かける動きを出ている計を接	農耕以後事するも冬季春	棒的生活を 営むもの、又は現在	より現在は	できませる。	つて自作す		ことは限り 一等地	į	将来は大きいですのにひっててか	ぎんでいるわけではなく次男	るか全部なる部農科生活と	元民は男なまな主体としてはい	これは問題とはならないが地のれるとないないできょう	麦のかはりなって大からいて	設けるを得るなんをある	するにはどうしても夜間都を	いなのようするが文のかてと	我なのがかある 然してり	ド運営して めくかということ に	何を持つものであって、とき四何	段から、アニは みくの足は 猫 いうりょう 神種な夜前から		近都な土地八夜间部 それ	的問題となりないかかる	置前野でけの足時別は近日前がかれ、月日の日の	月生をマエリとはうものであるって、以後、選覧の将来によって	1	ず生徒の布望を全部入れて	前教倉皇の時であれば取敢	とかる必要があろう	可以一本建としたから心検対	おいろをまるです前である		では松代高枝の現れにつて	くして松代高夜は発足した			
前気でなった人のかい	あ我の上 長村田のかんなど	(病成等了人のはある	台生徒個人の意志を尊重	編へしたものではなく、意かた			[F		の近距离で及向配等所	を豊南部に納入し	一年四十月四年十月四年	回比較的速距離で夜間		の 現在農村にたでわり		昼間部夜前部らそんな	つろり 日文手を大づま	大大大大 就不可用之經過七	t			れた分がの現と				であるとは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	されてい とまなる、と、さずししだいろうく 次男、一の言いえた、炊えつ、あるしのか	都たいなとしまるはいるというはころ	ともちつりれるとれば夏雨	は大声と於て吸ぎなけなかった	場に就職べるものようで後ろ	なりはなりそのだのません	ト遊むこと後はいりしもの人は場	して長ろうないなって以るる	島本に多いということであって	いるものは一だは比較的に体	ければも進せる意気にぶえて	ういということになっている	男子でかてされてるたかで一ろ	おより海で数とおそいるあく	初。	あず		_	者是好事以 機製 足八里	北京松八高大学		計三五四三十八	女 五 八 八	3000	書の記されば				
一年人以前子、一年大八年八年八年十八年一日投票人出席子のことであります。	となっていめ、文にはさるといってなが、と、東京の変形を見まるという。	あり青年子がに動きまった	なては自かしてくれいかいかい	食に立すとるだけの準備工水も			で最大なる外面にもで変力	ある米馬のみなどがする様と	であり、国際商し極めて常めて	進たもまい 名とをちむるの秋	然る下我なの欺職に際しては幸る	及けないは、惨めておれまある	かられ 中国くしろ 大丁の見込みの	教面こうものはながて茶べばなる		一貫うなき青年満見の心を強なし	ましまで多なして日本年度を双行ている おるか かいか 何もか こかられ	つ、あるのが日本一般の疾れて	類奏的な字樂主義に転し			いの河流しが	· · · ·		劑	4	中極度公式	た類様ないとである 歌時	大ような契行的行至か命り	近年以映画、生居間とお	ことになるかけてある 注意	大は三水少は一切認みりれない	眼を考してあるが夜間都	東日正月位かり、子子をあす	昼前部片は祭日、金你み	にはゆかないのである 前ち	こして一切とれるを認めるかけ	著を望むかし えけいがたヤと	屋が開いような地であげ	からなは終とか、殿町、芝					一切事情と変視して教師の	しつとかな事の部あるいう	うのできるからを使れれてれ	な下間の間からからからいしょうとい	南大学る別語を近後等	ですとう文楽の形がおこ	*****	夜間ならばなとはいうものとあっようであると我をの投		-	
P3 27		いっているというのかとをだして	したというなのは草原が二大名と	あるとは出	は事命 水川部の生徒歌方	別在日本の内閣をする見けれて、我は三人とである、明治上は一句をきて新主義ではころとないは、すかつすり	一門を与れなけるともとを始まれている。	おって米属のみなどがするだがではあまりいられていいても助	の表を行きでしてあるのである	が満まがのて新きだいだめらいと	一及一般村民に高校なるものへ	飯下かけるは枝経常野坂		いのであるが、所被がまる人に		東頭のないて比後の朝日を持	くてカウラし 久 葉かガニリー河の一大 言なが多少のがいたはではられ	当に接配とものであって一般を	科 体育自由研究等一面	全は切合て、直及	一部のためのである。 切論少数	の四、月の平均一石教科の平など	月の内房を異なして父八九	教養社会 医籍每日别名各	大別し名教科主じて外国語	ではの報言には、とうううと、大が意識が、反向が大	中央がまる現在である新事と		計一七六一天的三六 二三	表	芸学が	近老	14 11 11	下山五三八	物生 大 人	777	透地 一八六	/犬 五 三元	梁 五 八	学二二	ň		で デー・ 大名 マ	次 節 またる でき	大きない ましばせ、「お花り」つ 一気にてきる	かいり、はなべしておるとなりまなのとうになる	は何利とが時別出席パーセント	今点に及の注語者の出身都	のないである。	されらば 接上て野頭の間間を	ボルトかうすり 隆下でラード	りあるようであってい我たの投	-		

# 1	***	で育まくでけているが、	X Charles All	
	大桜茶には入む	ようなこなないものであって生水で用ているかこの	今ちの発表に競せと	
	いのであってまっちが	如何に取りたちされた続きいつものはその	である 成漬はどうしいの最下位に近きもの	
大きな、大きな、	6 野で生まるのなりない。或は又、	大八日子男でい	である	育でとからうなおまてる。
	入だけしたもの、家庭の事情や	見は光	なったなる	語
	その世の事情によりい	两		学
上田東東北京 (南ラ)	ζ.	するりこかをするである	から歯っ	印学不
	Æ.	京 元 日 みずけるいって	在籍数	文艺不
一	と関核当時の入ばるないの方	在新有数 山角	通行 人而	きが
のである。このものでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	在猪生失数)とも比較すれば明	11 1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1		全
	ある	五		彩 不
	名のとある少数以下			
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	からみそ 以ずし	五	A	表火於では灰道標準を大体に
「大山山 大 大 八 山	で月前一人と出席してかった		=	ء م
一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	とは限事が新には四十月前に	足.		1 -
マン・ラス・カス・大人の中央が大き、大人の一大の一大の大き、大人の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の		Y J		· -
マンドの表を近く過ぎるとかに、	まなる世界			でというれけではあい 中に
本のでは、大大、大人、「大人」」と、「大人」と、「大い、「大い、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、」」と、「大い、「大い、」」と、「大い、」」、「大い、」」、「大い、」」、「大い、」」、「大い、」、「大い、」」、「大い、」、「、」、「大い、」、「、」、「大い、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、	₹ ≥. , ,	2 1		~ だめではあなるものか
一	۲ : ا	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		あるかを体からみとさいのよ
大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大	五言 新人工	11	1.	うな精神となるということま
本の作用があるかと知って実体にあって、「大」と、「大」と、「大」と、「大」と、「大」と、「大」と、「大」と、「大」と	海老 活水は出席	- x	1	したい過ぎない
本のよりであるが生活をあった。 「下川」は高くないでは、 一である。とは、大人とは、 を成け、本本村をあった。 である。一位、 一である。となった。 を成け、本本村をある。 一である。となった。 一である。となった。 を成け、またして、 は、で、よった。 で、また。 のは、本村のも青年子女が知何。 をで、また。 を成け、また。 で、また。 のは、本村のも青年子女が知何。 をで、また。 を成け、また。 のは、本村のも青年子女が知何。 をで、また。 のは、本村のもまた。 を成け、本村をもまた。 のは、本村のも青年子女が知何。 をで、また。 のは、本村のも青年子女が知何。 をで、また。 のは、本村のも青年子女が知何。 をで、また。 のは、本村のも青年子女が知何。 をで、また。 のは、本村のも青年子女が知何。 をで、また。 のは、本村で、また。 で、また。 のは、本村で、また。 のなが、また。 で、こ。 で、	13	E	, î	不明言は京大校業時間数
本がは、大大、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一		近五	=	少くて生徒の前力の程度を正
「「中期山よりの通路は迷茫。」 コード コー	かけれずみぞ大名の中五	双五	11	一座と把握するこかできないる
一	名が選なうた者である	た 一		このように示したのである
のようとと、反して同意ではます。このは、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人		The same of the sa	111	何此半年後にはその標準
の	片柳山よりの近ちの大路	村田田上		も国行の対することとまった人力
おいて、大きないった。 は、大きないの、 というのあるが、出席からない、 というは、一大が、一般では、いない、おいて、というには、おいて、というには、いない、おいて、は、一大が、大きないった。 は、大きないった。 は、大きないった。 は、大きないない、大きないった。 は、大きないった。 は、大きないったないったないった。 は、大きないったい。 は、大きないったい。 は、大きないったい。 は、大きないったい。 は、大きないったい。 は、大きないったい。 は、大きないったい。 は、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない		平村三田		9
は、大人、日本のでは、「中、日本の、日本の、日本の、日本の、日本の、日本の、日本の、日本の、日本の、日本の	なないすくっていず	水平村	1	
である。 人は現ると、大人 一	前すりずすりことはならり	計水平 コニントーニ	1 1 1 1 1 1 1 1 1	一次人工 生神の方大野方
一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、				さるないともはのうなお方
の地方は大きな大力である。 世の利き信義をある。 かくとも比較的に出席がよい、東上であるが、大人 しょ たが () であるが () では () では () であるが () では () では () であるが () では () で	けば本村は最大		のかな世が落 K地で断然のかな世が落 K地で断然	世間一般に新聞高等な校を考察して見よう
大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大	T.		日 1二 一天 三大	は青年は板の代からまたと青年は大いく、生後の代からまた
大田さいた子しく日マ又とのとの"蹲と前とないので、おして大いであるかと知らずのは、大い田がでは、五世田が、一面で、大い田がであるかと知らずである。大い田がであるかと知らずである。大い田がであるかと知らずである。大い田がであるかと知らずである。大い田がであるかと知らずである。大い田がであるかと知らずである。大い田がであるが大い田が、一直が大い田がであるが大い田がであるが大い田がであるが大田が田が、一直が大田がであるが大い田が、一方、「一大」「一大」「一大」「一大」「一大」「一大」「一大」「一大」「一大」「一大」	民町ものかき結果をかるとき		四 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	さるないともですなべたのでするないと、生間一般に、新聞高等な校の代が大きた人ものとうにたべれているない。
に何ざいた子しく 且つ又光の との 蹲き削り 看があるが似席 みと 腕子らた 足よものに 大手 であるが 出て のである など は まっかって は にかって かん と 一 で は から かっぱ 一 で は かっかっか 生 だ るとが から かん まっか から で まっかっか と は まるから で かん と で まっか から で まっか と だい から で まっか と は まっか で まっか から は まっか	1	マ 表を作者としたのろう。 対表をおそ無以着者及い 関しか出席していたいものほの 関しか出席していたいものほの はき割在することは生然ないかい るものは へが 不可なるものに介 るものは へが 不可なるものに介	四 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	またとうとはいくとうにたくします。 またいしゃない はんしょうにん のんりにもたく しょうにたくしゃくいるが、そうではない。 ちんしょうにん がいん がい かいしょうにん かいしょう はんりん はんりん はんりん はんりん はんしん はんしん はんしん はんしん
大学は、大学のようでは、こうしの代面荷してきては、大学の大学には、大学のようで、大学のようで、大学のようでは、こうでは、大学のような、大学のような、大学の大学の大学のよう、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	公人何ないときしくまつ又との	住々 無出席者にして優秀なりは、 大	日本人 成績を平均し、将来は少くとも比較的に出産がまる。 多い、 之に反した、指数はく「不可なるのの数しますと「不可なる」のの数しまする。のの数しまする。のの数しまする。	級火類以上大七のと考えい、生育年度校の上ではあい、そうではない、七十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八
大学 は 上籍 在 かかく で 大 と しった かい しゃ たま に あっかく まっとったり から かん は から から から かん な から	15	は中村 四 27 は、	四十二二二三十三十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十	概要におって 説明したようとかで 目かいものとなった。 そうではないとのとりかいたへいないとうだけないとれているが、そうではないとれているが、そうではないとれているが、そうではないとれているが、それでは 大利高等を放ったが、大利ではないともなったが、大利高等を放ったが、大利高等を放ったが、大利高等を放ったが、
大学は上海などの今か、一世であるが上げ、全体として展示して、一点の、一点では、一点で、一点で、一点で、一点で、一点で、一点で、一点で、一点で、一点で、一点で	あるかを知るの	大きなは、その生徒の美の東の東方を は、対したの、おき作者によって表き作者とおそ、気はなるないか、まものは、一一でなるないか、まものは、一一でなるないか、まものは、一一では、大き作者とおそ、気はなるないが、まものは、一一では、大き作者というないが、大きが者との、導き削く者があるが、人間では、大きが者によった。これが、大きが、大きが、大きが、大きが、大きが、大きが、大きが、大きが、大きが、大き	四十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	大新剛制等学校は旧京の大瀬町の大きなない、大野側ではない、七のとちらいたのとなった。 世間一般大利はない せんかいたい はず年はない はれているか、そうではない はれているが、そうでははないが、大野似したものでは、大野似したものとは、大野似したものとなった。 まれる あれる 一世間一般大 新聞高等された。
世童子は、五世山平村、地 制学の当に精進との火ミモ なものと認いる実育のかけ、大平 中 に た	ある之代反して同で	知ることが出来ない 乗して真の知ることが出来ないかいますのは 一一 マール 不可なるかに介護 平 ニース 不可なるかに介護 平 ニース 大き作業したのある 大き がまたがく 無出席者にして優秀ないかいるものは 一心 不可なるかに介達 平 ニーマンは との 薄さ削く たのものに介える 一 マース まるま 一 一 マース まる まん	四十二二二三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	大野村は終っていっちであるがとれているが、大野間を育るが、そうではないとれているか、そうではないとれているが、そうではないなれているが、大野間を育るが、そうではないないでは、新聞間ではあったが、大野間ではなっているが、大野間ではなっているが、大野間ではなったが、大野間ではなったが、大野間ではなったが、大野間ではないというではない。
一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一大、一	五四 山平村	東方春なは、此の上にし前一層を力春なが出席していないないかいますのは、一世の大変を表ないかいますのは、一世で、一世で、一世で、一世で、一世で、一世で、一世で、一世で、一世で、一世で	四十二二 美一多大四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	は青年は校の代りとまた人は青年は校の代りとまた人は青年は校の代りとまた人は水ではない、はれているか、それのと考えいない、新聞高等は校の代別に対するが、それではない、新聞高等はない。それではない、大 新聞高等はない。それではない。これではないないない。これではないないない。これではないないないない。これではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない
大文平等は 在籍看少数公司 との成が高いたちのが大平等は 在籍看少数公司 との成が高いたちのが大平等は 在籍看少数公司 との方が 一世界が 関係をよって というかい とうかい は 当年 というから は 当年 という から と は 当年 というから は は 当年 というから は 当年 というが とい は 当年 というから は は またり というな またり というな は 当年 というな は は から は は は な は は は から は は は は は は は は は は は は は は は	の城 千年等であるが、孟也	動学の道に構進さられくことをからずるとの、時で聞く者にからからないかいますがまるといかいますが、時で開き間と着かあるが似席をの、時で聞き間となりまないかいますが、時で聞き間となる。時で聞くため、まなが、本の生徒の時では、大き作者といるようなとの、時で聞く者にからからないが、ましたとの、時で聞く者にいるとの、時で聞くないが、不可ないないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ない	四十二二二三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	類似したものでなりから見ないとあっている。 まる 日本の一般人 一年であった。 はっているではないはれているが、そうではないないでいるが、対別ある首はなった。 新制局等はなった。 新制局等はなった。 大新制局等はなった。 まるのはないないが、大きない。 はんしたものであった。 はんしたものであった。 はんしたものであった。 はんしたものでないた。 まんのは、 まんの のは、 がり のは はんしたものでないた。 まんが のにいる いんがい はんしん とんの とんか とん かい とんが とん かい とん とん かい とん とん かい とん かい とん かい とん かい とん かい とん ない とん ない とん ない とん ない とん かい とん ない と
大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一大人、一	4	神 マー マー マー マー は で	四十二二二三十二八四八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	大将末に切締 旧別等所等だ校、将末に切締 旧京の山地ではない、そうではないとのとまた、大が関西が大村ではないとなったが、大が制制をではないとなったが、大が制制をではないないというになったが、大が制制をではないないとかった。大が制制をではないないとかった。大が制制をではないないとなった。大が制制をではないないない。
(1) 大大、大大、大大、大大、大大、大大、大大、大大、大大、大大、大大、大大、大大、	#	は中村 四 20 は、	四十二二 美一多人的人的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的	と同等の学力識見を有いるとのである。 は 新型馬等学校 の代り公司を入れているが、そうではないないでいるであるが、対別馬等学校の上でで、新型馬等学校ではいまって、新型馬等学校では、大型似したものであった。 新型馬等学校ではいまって、新型馬等学校ではいまって、大大型はいたとのであった。 はんしたものであった。 はんしたい はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし
マーヤントは三大である実によるであるが、大人、「一大」と、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」	ij	一	四十二二 美一多大大大大学 大学 大	大学を教育すべき機関である。大平度となる。 は青年になっているが、そうではない、よれているが、そうではない、よれているが、そうではない、お利用の等で放け、新利用の等で放け、大きで、大きではないで、大きなないでは、大きなないというでは、大きなないというでは、大きなないというでは、大きなないとなって、大きなないというでは、大きなないというでは、大きなないというでは、大きなないというでは、大きなないというでは、大きなないというでは、大きなないというでは、大きなないというでは、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないというには、ないないというには、大きなないないというには、大きなないないというには、大きなないないというには、大きなないというには、大きなないというには、大きなないないというには、大きなないないというには、大きなないないというには、大きなないないというには、大きなないないというないないというには、大きなないないないというには、大きなないないないないないないないないないないないないないないないないないないな
一世 では、	と作	新大学の道に構造さられた。	四十二二 美一多人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的	大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学ではない、大学ではない、は、大学ではない、は、大学ではない、は、大学ではない、大学ではない、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では
日本の大学をあった。 日本の大学をあった。 日本が、一点、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」、「大人」	子が	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	四十二二 美一多人的人工的人工的人工的人工的人工的人工的人工的人工的人工的人工的人工的人工的人工	大学者は今年の大学を大学を大学者を大学者を大学者を大学者は今年の大学者はから、大学者はから、大学者はから、大学者はから、大学者はから、大学者はから、大学者はから、大学者はから、大学者はから、大学者はから、大学者はない。大学の前は田末の中で校の上、新期高等活教は田末の中で校の上、新期高等活教は田末の中で校の上、大新期高等活教は田末の中で校の上、大学者はから、大学である。 「大学者はから、大学であるが、大学者はから、大学であるが、大学であればれているである。 一、大学者はから、大学であるが、大学である。 一、大学者はから、大学であるが、大学である。 一、大学者はから、大学であるが、大学である。 一、大学者はから、大学であるが、大学である。 一、大学者はから、大学であるが、大学である。 一、大学者はから、大学である。 では、大学では、大学である。 では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学
日籍歌 三五人 六人 四人 大人 七人 三人 とうりょうから 一番 一番 では 田屋 であるが 世界を であるが 世界を である かく ます 四月前の 京 る なけ 常 であるが 最大の けん ではあるが と は 出席を である かく ます 四月前の 京 る なけ 常 満 であるで と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	きょく	一	四十二二三三二三八三八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	大型 は、大型を大型を大型を大型を大型を大型を大型を大型を大型を大型を大型を大型を大型を大
を関する。 1000年代では、1000年代であるが上月未発在できる。本校は関数がよりがでいるが、1000年代であるが「大人」のであるが「大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表がしている。 1000年代であるが「大力」を表がしている。 1000年代であるが「大力」を表が「大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、大力」を表が、大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、大力。 1000年代であるが「大力」を表が、「大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、「大力」を関する。 1000年代であるが「大力」を表が、「大力」を関する。 1000年代であるが、大力」を表が、「大力」を表が、「大力」を関する。 1000年代であるが、大力」を表が、「力力」を表が、「大力」を表が、「大力」を表が、「力力」を表	トラフに止	一	四十二二十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三	大大東京 大平方の大平方の大平方の大平方の大東京 は青年では、大東の大きなの人ではあり、大東京にある大東京は、東京は、東京は、東京は、東京は、東京は、東京は、東京は、東京は、東京は、
一大 () であるが 異ないのである () であるが 大神のけの好 にかみがある () は () であるが () であ	機や最多	本の、時で前となったがでものが、大変であった人がであるが、大変である。	四 1二 美 美元 大平 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	大大東京 大東京 大東京 大東京 大東京 大東京 大東京 大東京 大東京 大東京
一次のは、大きのでは、いこの、 いったの は、大きのでは、いこのでは、いったが、 まずのは、 は、 このでは、 この	一般で最少 大方に	大きな、	四 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11	大大東京 大田市 一里
一次人間交どかくて宮末は公をあらかします。 いっておるのは、日前次人間、大きの、日本村であるが、日前次では、いっか、日本村であるが、日前が「四三人」 「一人」 「一人」 「一人」 「一人」 「一人」 「一人」 「一人」 「一	日間 関ルまり	は、	四 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11	一日本校三子保古人实际的一种上面一般人类是多人的一种的一般人类是多人的一种的一种的一种的一种的一种的一种的一种的一种的一种的一种的一种的一种的一种的
「大人 一人 一人 一人 一人 一人 一人 一人	を前部 俊/マ最初 ヴィスカ	大文 との、 はっている。 は、 は、 は	四 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	大部子 後、中国の一大平度、大部子 日間一般、新聞高等を放ったり、大学は一般、大型によってあるが、そうではない、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など
「大人 「大	東京部 ニュ人 恵公まを受ける 一年着歌 ニュ人 恵 一年着歌 の公まを受ける 一年着歌 の公まを受ける 一年	は 一	四十二二十三十三十二十二十二十三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	大田 中国 一般 で 一 で 大田 市 一般 で 一 で で 日 は、 こって み で 日 は、 こった で 日 は、 こった で 日 は、 こった で 日 は、 こった で 日 間 一般 で 一 で で 日 間 に か で み で 日 は、 で で 日 間 に か で み で 日 は、 で で で 日 間 一般 で か った で で 日 間 局 が で で で で で で で で で で で で で で で で で で
では、おいては、一点の一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	大人を明治の一大人を対法の子である。 ままた、全部が治の子である。 に着者数 風なまる。 大であるとは、 大人のある。 は、 大人のある。 は、 大人のようには、 大人のようには、 大人間できない。 またい は、 大人間では、 大人には、 はいは、 大人には、 大いは、 大いは、 大いは、 大いは、 大いは、 大いは、 大いは、 大い	一	四一八二 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	成庸 教職員等を検がまるが、大平度となるが、その間はいくしのときにないというにないというであるが、そうではない、は青年に放っているではない、はでいるが、対かの間は日素のはまでない。と、新制制等を技がするが、その間は日素のはまでない。と、新制制等を技がするが、その間は日素のはまでない。と、新制制等を技がまるが、こと、明かであるが、といい、といい、といい、といい、といい、といい、といい、といい、といい、とい
大学のでは、一世の一大学のでは、一世の一大学のであるが、大学の大学のであるが、大学のでは、一世、一世、一世、一世、一世、一世、一世、一世、一世、一世、一世、一世、一世、	大人親などかへてだけはない人があるとなり、一大人親などかってだけませんないが大さあるとは、一大人親などのでは、一大人のあるとは、一大人親などのでは、一大人のでは、一大人親などのでは、一大人親などのかって、一大人親などのかって、一大人親などのかって、一大人親などのかって、一大人親などのかって、一大人親などのかって、一大人教をしている。	一	四十二二十三人 三人 一 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	世間一般大 新聞高等法校上で、大学は、一般大 日本に 大見まり、上京ではない、大学にない、大学にない、大学にない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない。大学はない、大学はない、大学はない。大学はない、大学はない。大学はない、大学はない。大学はない、大学はない。大学はないない、大学はない。大学はない。大学はない、大学はない。大学はない、大学はない。大学はない、大学はない。大学はない、大学はない。大学はない。大学はない、大学はない。大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない。大学はない、大学はないない、大学はないない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はない、大学はないない、大学はないない、大学はない、大学はない、大学はないない、大学はないいいはないないないないないないないないないないないないないないないないな
現るのではいこの 等であるが七月まだんできる 本校は関政が表 目前液く時 出身者がからであるが 生徒の今知 (本村である 次が千年) はでもやなばやった方かいとう 辛業者のとおした 可能性ないと 在籍者の多いものは 河といて とうりゅうできる はないです へが落別 成績表を謂う) 人の唯裕により 必ずじも全教科 は大部本をおして するが はないです へが落別 成績表を謂う) 人の唯裕により 必ずじも全教科 は大部 は 産をとうやり 優勢に行 この表 と「関照にに、	最前部 三五人 医常はな 大川 大学 大井 大学	一	四十二二十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三	大田大学の関ロというで表表で、大田大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大田大学では、大田大学では、大田大学では、大田大学では、大田大学では、大田大学では、大田大学では、大田大学では、大田大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、
たいろか「普遍 等もの」との「本村である、水村の財産、大村の特理等 たまたははあるか「普遍 等もの」との 本村である 次の千年。 けでもやなばでであかいとう 年業者のとおした 可能性ないと 在籍者の多いものは何以いて を規格となったの 教育、不可な 人の推着とうから を持ちなる 本村である 次の千年。 けでもやなばめません 一般ないとう 中業者 からかかるが 生徒の今年 むかんだんろうか 「本町ない」との は はまる 彼も 中 ぎして 世界 とのであるが まだの は 一般 でした 一般 できる かん という ない という 中 まず のである から と は は まる まず の である から と できる は 一般 でしまって こと できる と できる と できる と できる と できる と でもの に できる と と できる	我的称 四三人 三人 を同部 四三人 と 大野 古火全 野 著の アント は 三大である で 大脚 古教 魔 を ちゅって で まない アーカー に 野 古教 優 を ちゅって アールー マート は 三大である で 大脚 大きかって で まない マント は 三人 で で す は 三人 で で す は 三人 で こ かって で す は い かって で す は こ へ こ へ こ へ こ へ こ へ こ へ こ へ こ へ こ へ こ	一	四十二二三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	大型 は 一般 と 一般
我のかべき」を言う」との情に做し、自教を作製したの人は誰も彼も中常して世界、大学は自然が高いというのはではないものは高等学である。大学であるが教育のであるが生活なった。一般であるが教育のであるが、大学はおいて、一般であるが教育のであるが教育のであるが、大学はおいて、一般であるが教育のであるが教育のであるが、大学はおいて、一般であるが教育のであるが教育のであるが、大学はおいて、一般では、一般であるが教育のである。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般である。一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般では、一般である。一般である。一般では、一般である。一般である。一般である。一般である。一般では、一般である。一般である。一般では、一般である。一般である。一般では、一般である。」 「一般である」 「一般である」」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」」 「一般である」 「一般である。 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である」 「一般である。 「一般である」 「一般である」 「一般で	安川市 四三人 三人 を同部 四三人 と 大野 古 火 地 えないがえてある に 地 大 地 えないがえてある に 地 大 で ある で で まま かへて ぎまない かって で まま かって で まま かって で まま かって で まま を 優が で かって で まま で かって で まま で かって で まま で かって で まま で かって	一	四十二二 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、
まったいではないでは、であるが上月まだんでする、本校は自成が来日的液く時、出身者がつからかはではないも、山荒戸、田沢、下山、17月、のであるが、泉村の特理者 た表には、18月、18月、18月、18月 18月、18月、18月、18月、18月、18月、18月、18月、18月、18月、	およろうで、最高の主観的でなくおうで、地方では一大大大力を大概では、地方で大地之かく大大力を大概である。一大の間が、一川の大きかって、近点では、大大力を大きが、一川のいりのいが、一川のいりのいが、一川のいりのいが、一川のいりのいが、一川のいりのいが、一川のいのいのいが、一川のいのいのいが、一川のいのいのいが、一川のいのいのいが、一川のいのいのいのいのいが、一川のいのいのいのいのいのいのいのいのいのいのいのいのいのいのいのいのいのいのい	は、	四十二二 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	大大学 大大学 大大学 大大学 大大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学
によっていている。 等であるが七月まだんできる 本校は国政が来目的液く時 出身者形である 生徒の今年 しまた 田沢 下山 いでれのでゆる からであるが となれてある 次か千年 けでもやればやった方かいこう 卒業者のとおした 可能性らしと 在籍者の多いものは何以って き現場となったい でう 卒業者のとおした 可能性らしと 在籍者の多いものは何以って き現場となる 東京 城山山城が高山鉄種とやったり 風がら付い こう 卒業者の 大の世界となったので、これにある。 にはしままで、「ははおきには、これにはいました。」にはしままで、「ははおきには、これにはいました。」にはしままで、これにはいました。	大いはあるかっています。 を同部 四三人 三人 を同部 四三人 三人	本の、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	四十二二十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三	大大学 は 一般 と 一般 で
(3つのはではないです) 等であるが七月まだんでもる 本校は関放が表目的液人時 出身者がからか 生徒の今知 りまた 田 沢 下山 47月 のでゆるはいでして 一般科学 人本村である 次か千年 けでもやればやった方かいことう 辛業者は一般 可能性ないと 在籍者の多いものは 何とごて き現場とうこうさい一放科学 未参のいたしょう のあり、不可な へが落削みが表を謂う) 人の性格とう ぶずしも全教科は大部を持ている から 原稿を作べた このおき 一般 原じれた	大ではあるが、書き場でするのではあるが、「大地之ない次である」は、一人ではあるが、「は三大である」は、「大である」は、「大いある」は、「大いある」は、「大いある」は、「大いある」は、「大いある」は、「大いある」は、「大いある」が、「大いなあるが、「大いなあるが、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないる」と、「大いないない。」と、「大いないる」と、「大いないないないる」と、「大いないる」と、「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	神 大	四十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、
3つのはではないも、一等であるが七月まだんでもる 本教は関政が展日的液人群 出身者があるが 生族の今知 り本村である 次か千年 はでもやればやった方かいとう 辛業者は一応 可能性ないと 在籍者の多いものは 同じって き現場じないよい一教科に 来参のは一応 可能性ない (公話者の多いものは)のじって き現場じないよい (次でしも全教科は大部の指しまりを)のでして全教科は大部	大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	一	四十二二十三十二十三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	大型 は 日 別 の は 大型 を と を と で 日 別 の に 大型 を と を と で と で に か と か と で は で か と か き か き か き か き か き か き か き か き か き
気のけてはないです。等であるが七月まだなでする 本校は関政が表目的液く時 出身者をからか生徒の今知 小茶村である 火か千年 けでもやればやった方かいてら 李紫春は一応 可能性なしと 在籍者の多いものは何かいて き見りとうともい一教科学、来者のは一応 可能性なしと 在籍者の多いものは何かいて き見りとうともい一教科学、来者のは一応 可能性なし	大の課程というやりの観光とないがである。 日本部が 三五人 日本部が 三五人 日本部が 三五人 日本部が 三五人 日本部が 三五人 日本語歌 優秀なり 一大いはあるい 一世 一大いはあるい は 出席という は まん いって ぎまる こに は は は かくて ぎまる こに は は は かくて ぎまる ここと は は は かく いまかる できる におって ぎまる しょう は は は かく いき かく できかる できる におって ぎまる しゅう かく は から かく に は かく いき かく に は に は に は に は に は に は に は に は に は に	は、大大大大人 一 一 一 一 一 一 一 一 一	四十二二 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	大型 は 一般 の 一般
気のけてはないと同い等であるが七月まだなでする一本校は関政以来日前減く時、出身者とからか生徒の今ち、小本村である、次が千年、 けでもやはばしも 小葉戸 田沢 下回、マルのである せんじゅうた方かいこう 卒業者とあるが生徒の多ち、小本村である、次が千年、 けでもやはばやった方かいこう 卒業者	大学 は 当人 は 三人 かっかって は 当 が いん は 三人 かって では あるが 一 三人 は 当人 かって ぎまめ 東京 は 当人 かった は 当人 かった は 当人 かった は 当人 が は あかった は 当人 で は あかった は 当人 で は あかった は 当人 で は あるかった まかった は 当人 で は あるかった まかった また に おうかった は 当者 数 優秀 たっかった は 当者 と と ラマウ る に おう で は 着ま と と ラマウ る に おう が こ は 当者 数 優秀 たっかった は 当者 と と ラマウ と は いった いっちの と だった は さんり こうしゅう しゅう かっかった は 当人 かっかった は 当人 かった は コード は コード かった は コード は コード かった かった は コード かった は コード は コード かった は コード は コード かった は コード かった は コード かった は コード かった は コード は コード は コード かった かった は こう これ また	一世	四十二二 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	大田大田 一般 一面 一种 一面
気のかけてはないと同い等であるが十二月末、発在できる一本校は関政以来、目的減く時、出身者とつかけてはないと同い時で、一田沢、下四いマルのである。	大の課程というより、「大大である」というは、世界を教養を行うなければ、高年の課程というより、最初が、一二人を同都、四三人とは、一次であるが、「世界を教養を行うなけば、高年をは、日本をにおうて、筆者の主義の、世界を教養をなった。まのもおと指した。まったが、「大大は、一一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、一、大いは、大いは、一、大いは、大いは、大いは、大いは、大いは、大いは、大いは、大いは、大いは、大いは	対	四一八二 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	大田 中国 一般 大田 市 大田 市 大田 市 当 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市
(東京) 1777年 1日本の日本大学の日本教は国政以来日前次人時 出身者、牧村のけてはいは同一等であるが十八月末 東在でもの一本教は国政以来日前次人時 出身者	大田 一大 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一	四十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	大型 は 日 明 高 等 で 大型 を を を を を を を を を を を を を を を を を を
(1) 1000 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	大きのであるが生徒の今年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年	が 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	四一八二 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	大型 は は できる は は できる は 大型 かっよい で で は 日 別 の に かい と かい
	大は三大である。 は三大であるが、は三大であるが、生徒の今から、一世治療、関係を受ければ、一世治療、大きないて、ではないであるが、生徒の今からが、生徒の今のから、一世の一人一世の一人一世の一人一世の一人一世の一人一世の一人一世の一人一世の一	村 マー	四十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	2月17日 生物の 10 大平度 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
のはまでくれて、火気	大・の」は一が「対象性などの」は一が「対象を表におっている」は一が「対象性などうやりの」は一が「対象性などうかりを関する」は一が「対象性などうかりを表におっている」は一が「対象性などうかり」は一が「対象性などうかり」は一が「対象性などうかり」は一が「対象性などうかり」は一が「対象性などうかり」は一般の課程とどうかりを表におっているというが、対力が一般の課程とどうかりを表におっているというが、対力が対しているというが、対力が対しているというが、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対力が対しているというには、対力が対しているというには、対力が対しているというには、対しないのでは、対しないのではないのでは、対しないのではないのでは、ないのでは、対しないのではないのでは、対しないのでは、ないのでは、ないのではないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのでは	新 一	四十二二三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	世間一般大 新制高等意校。北京下海、山東南山根大 新制高等意校。北京下海、山東南山根大 新制高等意校。北京下海、山東南山南、海南山根大 新制高等意校。江北京、山東南山南、海南山南、海南山南、海南山南、海南山南、海南山南、海南山南、海南山

10 1 € **4** 2 € 10 H 参行 が代題だし、計様ではかりない、野坊前員とかで、大明時時前員とかで 有明在蒙中然右衛制四等中常右衛制四等中常右 四は長年八里る職件に関は長年八里る職件に ¥ () まやり -者の学力にいてくいうことになってとは大部分青年な枝は芽 あうう 皆成さ知ることのつ 野草を引み 英で不年度 生徒の学力とい 度と考かるよう 更に土地到 (よい食の味では社会性)ゆと て一言しよう おかし流用車 父子が代年北次六 本耳及色徒 立て放び 不思 等於慰斯校日 いうことになる 全要につ なり - 124 13 のないないないとう X 五器大公院出れる 家 表 合物に入る 四般有区村十 対する熱質の 出場着 四三三九九 ない方々の教育に対理事に因るか 大湯 でをなるがを美へがあ 数の少いいうこうには の生食と思いれて 我以は故含有人 この故下この項大川空郷と 三 五 六 ス 三 川 ル 三 叫 山 is. 35 八九八日 圣常于其上 五 11. 124 III V 科小反別 退る本がで少 設備な なり先につなながれば将不住なり先にいって一つの常識程度の教養である。 なりれ口良 商家奏給有久数 新ながあるが、教師城存の優秀生後一気となって、教師城存 新 ないこうない 明明 でものするかでははもろう様 大孩すことなるであるう 我がななである高校の教 之から見大なる見情で以て進く 熟学に附人でる次本の新校学展の為に 101 大型=八五次一-在箱者数 17 0 0 70